

6月29日の集中豪雨被害状況及び台風18号による樹木の被害について

田川朋男

1. 6月29日の集中豪雨被害について

平成11年6月29日の集中豪雨は広島市内にも大きな被害をもたらした。当園も開園以来最大の被害を受けたので、記録する。

6月29日は、朝から雨が降っており、当園の観測では日降水量は250mmを記録した(広島方気象台で観測された日降水量は96.5mm)。特に13時から15時の2時間に、そのうち150mmあまりが降っていた。この集中豪雨により園内11ヶ所(図1参照)で土砂崩れ等の被害があり、うち5ヶ所で植栽されていた植物が流出した土砂に押し流されたり、埋まったりした。この集中豪雨と6月23日から続いた長雨のため、緩んでいた地盤が一気に崩れだしたものと思われる。



集中豪雨による土砂崩れ(芝生広場周辺)

復旧は、ただちに流出した土砂の撤去とブルーシートによる崩壊箇所の保全を行ない、チシマザクラなどの標本木については、鉢植えにして保護した。崩壊箇所の復旧工事後に植栽を行なっていく予定である。

2. 台風18号による樹木の被害について

平成11年9月24日に通過した台風18号(最大瞬間風速49.6m/s)によって樹木、花壇、施設に大きな被害が発生した。樹木の被害及び場所については表、図2のとおりである。

このうち、全倒・幹折れについては伐採処分し、半倒木については、起こしたあと支柱を設置し、樹勢の回復を期待した。他に、高木の枝折れが約60本あり、剪定により対応した。また、花壇の被害は、強風による倒伏、損傷が主で、約226㎡、9,600株を植え替えた。なお、平成3年同時期の台風19号で被った大きな潮風害(栽培記録第13号参照)は見られなかった。



強風による被害(日本庭園奥)

図1. 6月29日の集中豪雨被害



番号	被害内容	植物被害
①	土砂崩れによる法面崩壊(10m×30m)	レンギョウ、ユキヤナギ流失
②	土砂崩れによる法面崩壊(4m×10m)	チシマザクラ流失、芝埋没
③	土砂崩れによる法面崩壊(5m×10m)	ヤマアジサイ流失、エビネ埋没
④	土砂崩れによる法面崩壊(7m×10m)	ヤマアジサイ流失、エビネ埋没
⑤	土砂崩れによる土砂流出	スギ倒伏
⑥	園路法面崩壊による園路崩壊で通行不可	
⑦	土砂崩れによる法面崩壊(5m×5m)	
⑧	園から雨水が流出	
⑨	土砂崩れによる法面崩壊(5m×5m)	
⑩	園路にクラックが入っている(10m)	
⑪	境界フェンスが傾く	

表 台風18号による樹木の被害

区分	地区	樹 種	全倒、幹折れ	半倒	枝折れ	計
植 栽 樹 木	①	ヤエザクラ	1	1		2
	②	スギ、ヒノキ、ケヤキ	6			13
		クスノキ、シイノキ、ケヤキ			7	
	③	スギ	4			9
		ケヤキ		1		
	④	センダン、オオシマザクラ			4	2
		クロマツ	2			
	⑤	シナサワグルミ、アメリカフウ	8			40
		シナサワグルミ、ヤマボウシ、スモモ、カリン、クラタエグス、オンダボダイジュ、ヤエザクラ(祇女、水上、琴平)、フユザクラ、ハナミズキ、シナマンサク		16		
		ソメイヨシノ、スモモ、サトザクラ、シナサワグルミ			16	
⑦	スギ	4			4	
⑧	アカシア、シナアブラギリ	5			28	
	シナノキ、ヒトツバカエデ、ハンノキ、イイギリ、ハウチワカエデ、ヒメコマツ、ウリハダカエデ、ブナ、カナダアカカエデ、クエルカス、エンジュ、トチュウイヌブナ、サワグルミ、ユーカリ、ツノハシバミ、ウワミズザクラ、クリ、フサアカシア			13		
⑨	ケヤキ、ヤエザクラ、フサアカシア、クロガネモチ、ユズリハ	11			18	
	サクラ		2			
	ツバキ			5		
⑩	ヒマラヤシイダ、カマエシバリス、クプレサス、ヤマモモ、ビヌス、ポプラ、タブノキ、ダイオウマツ、ヤマモモ	20			65	
	アメリカキササゲ、バージニアマツ、ドイツトウヒ、モミ、サワラ、セコイヤメスギ、イタリアサイプレス、ヒノキ、カリトリリス、ユサン、コメツガ、ツガ、ヒマラヤシイダ、ネズ、ユガミマツ、アビエス、コロラドビャクシン			32		
				13		
		計	61	65	55	181
自 生 樹 木	全園	アカマツ	58		1	59
	①	クリ	1			1
	③	アベマキ			1	1
	⑤	シイノキ			1	1
	⑥	アカメガシワ	1			2
		アベマキ			1	
	⑦	シイノキ、クリ、ネム	3			3
	⑧	ヤマザクラ、リョウブ、シイノキ、クヌギ	5			5
		計	68		4	72
		合 計	129	65	59	253

図2. 台風18号による樹木の被害地区区分図

